

# 佃月島新聞制作委員会 2021 年度会計収支のご報告 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

2021 年度の収支がまとまりましたので報告させていただきます。

○収入では、毎月 7 社の企業に広告の掲載をお願いしています。毎月発行できる基礎資金となっています。PR 記事・コラム記事として掲載しています。

広告が多くなったとの声も頂戴しております。非営利団体をして活動してはいますが今が最低限と考えています。これ以上の広告は紙面を削ってしまうことにもなり一般のタウン誌との差別化するためにも限度と考えています。

違った方法での収入増加も図っていきたいと思います。例えばホームページを活用したオンラインショップです。リスクを避けて注文販売で商品を仕入れる方法です。代金決済はクレジットでしたら、出品者にもリスクはありません。

○サポーター会費として個人・法人の 70 件近くの方に援助を頂戴しています。毎年継続して登録していただいている方が多いのです。地域の方に支えられ発行できています。その他編集長が中小企業の経営コンサルを行い、寄付金の収入としています。

○支出ですが、一番大きい印刷発行費ですが、9500 部から一万部に増刊したこともあり、配布基地への送料などを含めると約一ヶ月で 53 千円かかりますが、専門のデザイナーや編集者を置いていないことにより、廉価で発行ができています。その代わり多少の素人ぽさや間違いはご勘弁をいただいています。

○配布経費ですが、18 人の個人や企業の皆さんにお手伝いをいただいています。

す。昨年に比べて7人増加です。有償ボランティアとして大変少ないのですがお礼も差し上げています。

○今回コロナ禍で、配達を郵送に切り替えたこともあり、メール便や郵税が増大しました。また「地域雑誌佃月島」の無料配布にも協力したこともありました。

○多少収入が増えたことにより、今まで計上していなかった交通費や広告費を計上しました。

以上 ボランティア団体として、いろいろな方にご協力をいただきながら、2021年度も活動を継続することができました。まず営利団体として活動していたら、継続はできないと思います。何百万かの利益を求めると、広告収入に頼ることになり、コミュニティ紙としての地域活動が薄れてしまいます。と言って大きな赤字では維持することもできません。このぐらいの赤字ならなんとかなります。でも8年間活動してきましたが終活も考えなければいけません。できるところまで頑張っていきます。

# 収支報告書

報告期間： 2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

収入合計	¥1,416,000
支出合計	¥1,451,600
差引収支	-¥35,600

## 収入の部

項目	金額	備考
サポーター（個人）会費	¥170,000	68名の方にご協力いただきました
サポーター（法人）会費	¥160,000	4件の法人にご協力いただきました
助成金	¥30,000	R65月島カフェ 中央区社会福祉協議会 運営補助金
広告費	¥960,000	9社に定期広告を頂戴しました
寄付金	¥96,000	演芸館ほか
収入合計	¥1,416,000	

## 支出の部

項目	金額	備考
印刷費	¥636,000	一カ月53千円 送料6千円 12000部
ポスティング費	¥210,000	一カ月18千円
メール便郵税	¥125,600	R65郵税・メール便
ホームページ	¥51,000	サーバー・メルマガ運営
イベント運営費	¥125,000	R65他
事務費	¥120,000	出演料他
交通費	¥184,000	コミュニティサイクル他
収入合計	¥1,451,600	

備考